



2020年4月2日(木)

NO. 1052号

本号3頁

コロナ感染防止で大変な時でも、自民党は改憲に向けて動いています! 青森・愛媛県議会で、 国会における憲法議論の推進を求める意見書採択

新型コロナウイルス感染防止で国中が大変なかでも、自民党は改憲に向けて、草の根のとりくみを進めています。この間、青森と愛媛の県議会で、国会での改憲議論を求める意見書を自民党らが提出し、採択されました。

青森県議会で3月12日、自民党29人と、清和会、無所属あわせて35人が「国会における憲法議論についての意見書」を提出。12日の本会議で公明党会派が賛成し、賛成多数で採択されました。

また、16日には愛媛県議会で「国会における憲法論議の推進と国民的議論の喚起を求める意見書」が、賛成38(自民党、志士の会、愛媛維新の会、無所属)、反対6(えひめリベラルの会、日本共産党、ネットワーク市民の会)、青森で賛成した公明党は退場で、採択されました。

青森 国会における憲法議論についての意見書

国民主権、基本的人権の尊重、平和主義を基本原則とする日本国憲法は、昭和22年5月3日の施行以来、国民の福祉、国家の発展に大きな役割を果たしており、今後も堅持されるべきである。

一方で、憲法施行当時と比較して、我が国を取り巻く国際情勢や地方が抱える数々の問題は、大きく変化しているものの、今日に至るまでの70年を超えるこの間、一度も改正が行われていない。常に時代の変化と将来を見据え、現代にふさわしい国家のあり方を構想し、主権者である国民において幅広く論議され、主体性や意思が反映されるよう努めることは、憲法改正の発議権を有し、国権の最高機関として国民から国政を付託されている国会の責務である。

よって、国においては、よりよい国づくりへ向け、日本国憲法について、国民の広範な理解が得られるよう説明するとともに、国会の憲法審査会で丁寧な議論を進めるよう求める。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和2年3月12日 青森県議会

採決状況 賛成37(自民党、公明党・健政会、清和会、無所属)
反対9(民主連合、日本共産党、県民主役の県民の会)

青森では雪のなか、100人が意見書採択に抗議集会を開催

青森市の青い森公園で23日、県議会で採択された「国会における憲法論議についての意見書」に抗議する集会が開かれました。雪が降りだす悪天候の中、100人が参加しました。

主催団体から、憲法ネットあおもりの奥村栄共同代表があいさつ。県議は(憲法99条の)憲法を尊重し擁護する義務を負う「その他の公務員」に該当すると指摘。「安倍首相が狙う9条改憲と一体で、憲法を踏みにじる行為。青森から反対の声を大きくあげていこう」と呼びかけました。

憲法を守る青森県民の会の赤平泰衛代表は、「立憲主義に反する意見書に強く抗議する」と訴え。日本共産党の安藤晴美県議。県民主役の県政の会の鹿内博県議が「改憲反対、9条守れと力をあわせます」と連帯あいさつをしました。

集会では、主催団体と参加者一同が抗議文を拍手で採択し、翌 24 日、無主催者代表が県庁を訪れ、議長あてに抗議文を提出しました。

「桜を見る会」疑惑で追及が続く中でも、相変わらずの花見の安倍昭恵夫人 森友財務省職員自殺が報じられた夜!

「森友自殺〈財務省〉職員遺書全文公開」が反響を呼ぶ中、安倍首相の妻・昭恵氏が、3月下旬に都内で花見をしていたと「NEWS ポストセブン」が報じました。新型コロナウイルス対策で東京都による野外の宴会自粛要請が出ている中での“花見疑惑”に、疑問の声が上がっています。

3月9日夜7時、世界中のセレブが集まるダイニングバー「bills 銀座」。この日、宝石箱をイメージしたというラグジュアリーな空間で、大手PR会社副社長の誕生日パーティが盛大に開かれました。会場に姿を見せたのは、真矢ミキや神田うの、中田英寿、別所哲也ら大勢の有名人。そうした中、一人の女性に視線が注がれていたとのこと。

安倍首相 「レストランに行ってもいけないのか」と釈明

立憲民主党の杉尾秀哉議員が、この問題を取り上げました。これに対して、安倍首相は「私も大変、新型コロナウイルス対策で忙しいのでございますが……」と前置きし、写真を見て、昭恵夫人にも確認を行なったとしました。写真について、「都内のプライベートのスペースであるレストランで(昭恵夫人が)知人と会合を持ち、その際に桜を背景に記念写真を撮った」ものであると説明。その上で、「レストランの敷地内の桜のもとで撮ったもの」「東京都が自粛を求めている公園での花見のような宴会を行なっていたという事実はない」「レストランに行ってもいけないのか」と釈明しました。

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、全国各地で不要不急の外出や会合の自粛が求められるなかで明らかになった昭恵夫人の奔放な行動。それに対する安倍首相の「花見ではない。問題ない」という答弁で、果たしてどれだけ国民の理解が得られるでしょうか。

「安倍内閣の9条改憲は許さない」と女性たちが声を上げる!

30日、改憲を許さない世論を広げようと毎月取り組んでいる「安倍9条改憲NO! ウィメンズアクション」を、総がかり行動実行委員会が東京・有楽町で行いました。参加者らは、「コロナ対策に思い切った予算を いのちを守れ! 暮らしを守れ!」と書かれた横断幕を掲げ、「政治は、国民の命と暮らしを守るためにあります。政府にしっかりと生活補償を求めていきましょう」と訴えながら、改憲発議に反対する全国緊急署名を呼びかけました。

憲法共同センターの長尾ゆりさんは、コロナ対策だけでなく、「森友学園」をはじめとする安倍政権のあらゆる疑惑も問われていると指摘。「疑惑にふたをする政府の発言を、どれほど信用できるでしょうか」と強調。日本国憲法がうたう生存権が保障され、国民の声がしっかり届く政治をつくろうと語りました。



司会の菱山南帆子さんは、コロナ経済対策で安倍首相が「給付」に言及したが、対象も規模も足りないと強調。「こんなときだからこそ、私たちの生活を守れと声をあげていきましょう」とのべました。

共産、立民などの議員が激励。日本共産党から畑野君枝衆院議員、立憲民主党から大河原雅子衆院議員が参加しました

各地のとくみ

札幌・西区 「戦争は二度としちゃいけません」と署名

戦争させない札幌西区民の会は19日、「新型コロナウイルスの感染の裏で憲法を変えるなど許せない」と、「安倍9条改憲NO!改憲発議に反対する緊急署名」を呼びかけました。

春風が吹く札幌市の地下鉄琴似駅前。「戦争は最大の人権侵害 9条改憲許すな」の横断幕や、「お友達ファースト憲法無視安倍政治NO!」の大型プラスタを掲げ、「新型コロナウイルス肺炎対策 国の責任で抜本的な対策強化を」と書いたビラを手渡しました。

プラスタを指しながら「あの通り」と話しかけてきた女性は「安倍首相って何でもできているから大嫌い。戦争は絶対にやっちゃいけません」と署名しました。

「戦後生まれです。両親は戦争ばかりと嘆いていました」と72歳の女性。「消費税が5%になったら大助かりです。社会保障のためというのに、年金は下がる一方。せめて毎月支給してほしい」と語りました。

90歳の男性は、琴似に引っ越してきたばかりでバックから住所が書かれたメモを見ながら、「戦争中は北見市だった。二度としちゃいけません」と強い口調で話しました。

東京 羽田新ルート運用開始「考え直して」と、住民が反対の声上げる!

羽田空港の国際線を増やすための新しい飛行ルートの運用が29日から始まりました。将来的には発着数はこれまでより7割増え年9万9千回となります。1日あたり50便増える計画ですが、新型コロナウイルスの感染拡大で就航の延期が相次いでおり、新ルートの利用は当面一部にとどまる見通しです。一方で、都心上空を飛ぶことに伴う騒音への地域住民の懸念は根強く、反対の運動が展開されています。

新ルートの運用が翌日に迫った28日、東京都品川区のJR大井町駅前で、「羽田新ルート絶対反対! 大井町周辺住民の会」の酒井洋明代表らがマイクを握り、訴えました。また、区民からは中止を求める声が次つぎと寄せられました。

「強引に始めるなんて不安」と話すのは60代の女性。「試験飛行では騒音がすごかった。新型コロナウイルスの影響で減便なんだから必要ないでしょ。区議会も『再考』を求めています。さまざまな意見を聞いて考え直してほしい」と語りました。駅近くに住む70代の女性は「困ります。試験飛行での低空飛行を見て『怖い』『ひどい』と思いました。孫は『うるさい』って勉強中でもテレビをつけるんですよ。今日も夫と『嫌だね』って話してたところ」と憤ります。

2歳の息子を連れた母親(35)は「試験飛行の時の機体の大きさ、近さにびっくりしました。落下物が心配なので中止してほしい」と語り、52歳の女性は「整備した機体でも落下物はあると聞きます。危険を伴う新ルートなんて必要ないです」と強い調子で話しました。

最高裁前 辺野古上告棄却に抗議 「総がかり」などが沖縄に連帯

米軍辺野古新基地建設に伴う埋め立て承認撤回を取り消した国土交通相の裁決を「違法」と沖縄県が訴えた訴訟で、県の上告を棄却した最高裁判決への抗議アクションが27日、最高裁前で行われました。主催は、「止めよう! 辺野古埋め立て」国会包囲実行委員会と総がかり行動実行委員会。

参加者は「最高裁判決を糾弾するぞ」「辺野古の海を土砂で埋めるな」と訴えました。

主催者あいさつした総がかり行動実行委員会共同代表の高田健さんは「違法・脱法を繰り返す国に追従した不当判決だ。県民はあらゆる手段を尽くしてたたかう。私たちも連帯していく」と語りました。

次に、各団体の代表がスピーチ。安保破棄中央実行委員会の木下興さん(全日本民医連)は「民意を否定し、地方自治を破壊する判決に強く抗議する」と述べ、「沖縄だけではなく、日本全体に関わる問題です。新基地建設を止めるため、私たちもともにたたかおう」と呼びかけました。

お知らせ 有明での5・3憲法集会開催について

5月3日の都内有明で開催予定でした「5・3憲法集会」ですが、3月31日に実行委員会が開催され、新型コロナ感染拡大防止のため、次のように決定しましたので、お知らせします。

① 5月3日 有明での開催は中止する。②これまでの共同を継続し、他の場所で開催するとし、どこで、どのような内容で、どのように開催するかは、次回の4月15日の実行委員会で決める。

発言の中で多かったのは、「国会前で開催を」との意見でした。 憲法会議 高橋信一